



ホームページに挑戦！

登場人物

薬学部の大学生:舞  大学の先輩:大輔  薬局の主人:修一郎  料理店の親父:通称“仙人” 

【前回までのあらすじ】

ウイルス騒ぎがひと段落して、ようやく薬局に平和が戻った。そんな穏やかな昼下がり、修一郎の友人・山田がやってきた。

「先週は大変だったねえ。修一郎から来る初めてのメールがウイルス感染メールとは驚いたよ」

山田は勝手に上がりこんで、修一郎のパソコンをいじりながら話し始めた。山田は隣町で薬局を開業している古くからの友人だ。

「驚かせちゃって悪かったね。いやいや、インターネットの怖さが分ったよ」

「そりゃ、テレビと違ってネットは何でもありの世界だからね。でも、逆に考えると自分からも情報発信できるところが醍醐味の一つだよ」

「はやりのホームページかい？」

「その通り。うちの薬局では、ホームページを立ち上げたよ」

「さすがに進んでいるなあ」

山田がURLを打ちこむと、薬局のホームページの画面が出た。

「へえー、すごいね。こんな立派なホームページを誰が作ったんだい？」

「息子だよ。思ったより簡単に出来たみたいだよ」

トップの画面には、薬局の写真が貼りつけられていた。

「こうやって、ディスプレイで見ると様になっていくねえ」

「おっ！お目が高いね。この写真は、俺が撮った

んだ」

修一郎は、食い入るようにホームページを見ていた。

「それから、フォト俳句もやっているよ」

「何だい？そのフォト俳句っていうのは？」

「デジカメで撮った写真に俳句をつけたものだよ」

「そうか、山田は俳句が趣味だったな」

山田は、一通りホームページの内容を説明すると、上機嫌で帰っていった。

入れ替わるように、舞が入ってきた。

「こんにちわ」

「あれ、山田に会わなかった？」

「そこですれ違いましたよ。なんか楽しそうでしたけど」

「自分のホームページを自慢しに来たのさ。いやあ、聞いているうちにやりたくなったよ。これからは、個人が積極的に情報発信をする時代だ！」

山田の受け売りである。修一郎はかなり本気な様子だ。

「舞ちゃん、手伝ってくれるかな？」

「ホームページ作りですか？ちょっと調べますので、少し時間をください」

舞は仙人にヘルプを求めることにした。

.....

仙人は、遅い昼飯を食べながらテレビを見ていた。
「おじゃまします。この前はありがとうございました」

「今日は何だね」

「実は、薬局のホームページを作りたいって言われてて…。ホームページの作り方を教えてもらいたいです」

「これはまたずいぶん唐突な話だね」

「薬局のおじさん、言いだしたら聞かないんです。簡単に出来るって聞いたんですけど…」

「簡単と言えば簡単だが、安易に考えると、また痛い目にあうよ」

「ええ! 脅かさなさいよ」

「それじゃ、夕方の仕込みまで時間があるから説明しようか」

「よろしくお願いします」

「舞ちゃんは、ホームページを見るときにインターネットエクスプローラーとかを使うよね? インターネットを見るときに使うソフトをブラウザと言うんだけど、画面にhttp://から始まるアドレスが書いてあるだろう?」

「はい」

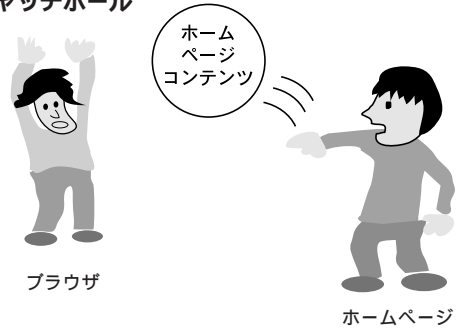
「ブラウザはこの文字列をサーバに送信するんだ。すると、これをホームページが認識して画面情報が書かれた文字列を送信してくる。それを、ブラウザが受信して文字や写真を表示しているんだ。」

「送られて来た画面のリンクをクリックすると、そこに書かれているURLをホームページに送信する。ホームページはそれを認識してまた画面を送りかえず。こんなことを繰り返しているんだ」

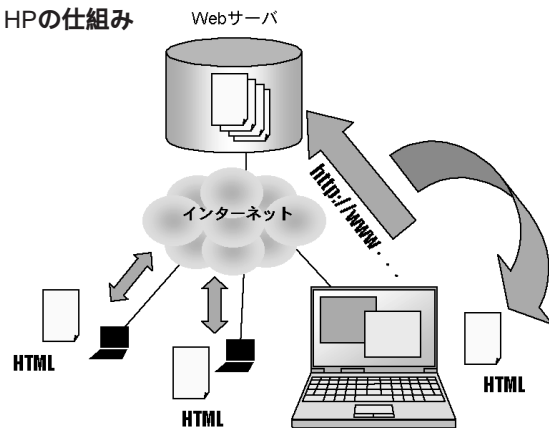
「ブラウザとホームページでキャッチボールをやっているようなものですか?」

「そうだよ。ここで重要なのは、パソコンのブラウザは、送られてきたデータを表示しているだけということだよ。コンテンツは全てホームページ上に

キャッチボール



HPの仕組み



あるんだよ」

「えっと、ワードやエクセルみたいにパソコン上にデータがあるわけではないということですね?」

「その通り。だからホームページを作るためには、ブラウザが解釈できる言葉で書かれたページをサーバに送りこむ必要があるんだ。ホームページを開くためのサーバはYahoo!BBのようなインターネットサービスプロバイダが提供しているんだ」

「なんだかすごく難しいですね」

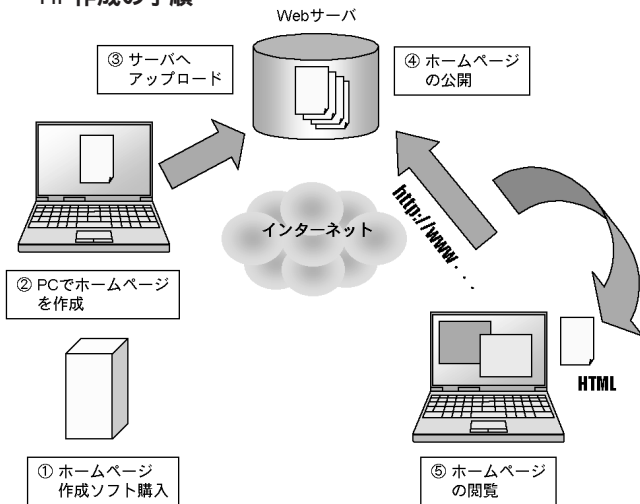
「これがホームページの仕組みなんだよ。きちんと理解しておかないと、痛い目にあうぞ。」

「またあ、やめてください。今までの話をまとめると」

- インターネットサービスプロバイダなどのサーバを借用する
- パソコンでホームページを作る
- そのページをサーバに送る
- パソコンからURLを打ちこむとホームページが見れるようになる

「こんな所でしょうか」

HP作成の手順



「そう。これが、一般的なホームページの作りだよ」

「ふう。概念を理解するって難しいですね。でも、パソコンでホームページを作るって言っても、どうやってやったらいいんですか？」

「ブラウザが解釈できる、HTML(hyper text markup language)という言語を使うんだ。プログラム言語と言うより、ホームページを表示するための約束事のようなものだ。この文字は大きめに表示するとか、ここに写真を入れるとかを決められるんだ。パソコンで普通に使われているテキスト形式なので、ワードやノートパッドなんかで作れるんだよ」

「HTML??? 難しそう」

「大丈夫。昔は一からHTMLを理解して書いていたんだけど、今はワープロ感覚でホームページが作れるソフトがあるんだ。ホームページビルダが代表的なものかな」

「へえ～、ワープロ感覚でできるんですか。パソコンでホームページ作ったら、その後はどうすればいいんですか？」

「サーバにそのデータを送るんだよ。ホームページビルダのような作成ソフトにはファイル転送機能が付いているから、それを使えばできる。一般的には、FTP(file transfer protocol)という手順を使うんだ」

「ファイルを転送・・・? ? 難しいなあ。薬局のお

じさんには無理かなあ」

「確かに初心者には敷居が高いかも知れないね」

「他に何か簡単なやり方はないですか？」

「CMSというシステムを使う方法があるよ」

「CMSって何ですか？」

「Contents Management Systemの略だよ。簡易的にホームページを作る仕組みをサーバ側で用意しているシステムのことだよ。最近は、ブログやmixiのようなソーシャルネットワークシステム(SNS)が流行っているけど、これらもCMSの一種だよ」

「ということは、ホームページビルダのような専用ソフトは要らないってことですか？」

「パソコンのブラウザだけあればOKさ。それに、このCMSの良いところは、どこからでもホームページの更新が出来るということだよ」

「???'」

「海外旅行をしたときでも、ホテルやインターネットカフェでネットに接続できる環境があれば、ホームページの更新が出来るんだ」

「おじさんの薬局のホームページを私のアパートのパソコンから更新できるということですね」

「そんなの、朝飯前だよ」

「それだったら良さそう! よし、じゃあそれで行きましょう」

「まあまあ、そう慌てないで。Yahoo!BBにこのサービスがあるか調べてみるよ」

仙人は、パソコンの前に行ってキーボードをたたき始めた。

「どうやらYahoo!BBもCMSを使ったジオクリエーターという簡易ホームページ作成サービスがあるようだね。しかも、Yahoo! BB会員なら、300メガバイトの公開サーバのエリアを無料で貸しだしてくれるようだよ」

「300メガバイトですか! ずいぶん太っ腹ですね。これなら、写真を沢山載せても大丈夫ですね」

「それはまたちょっと別の問題があるかな。ま、あ

とで」

「CMSを使ってホームページを作る手順はこんなところだよ」

Yahoo!BBにログインしてホームページの作成手続きをする
あらかじめ用意されているテンプレートを組み合わせてホームページを作る
URLにアクセスするとホームページが閲覧できる

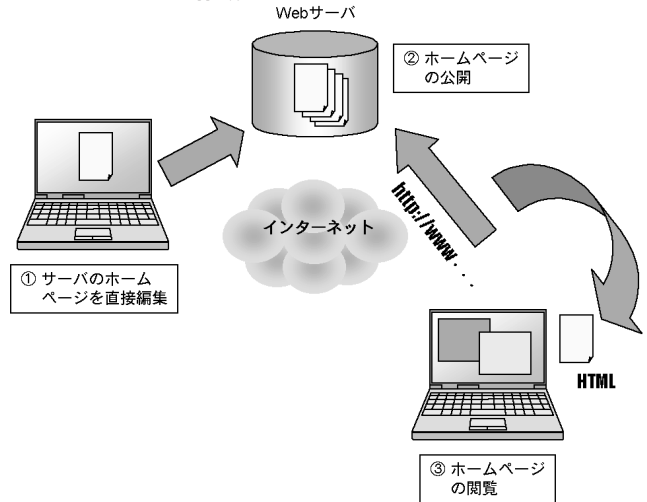
「簡単そうですね。こんなに簡単に自分のホームページが出来ちゃうんですか？」

「あとは、自分の好きな写真を貼りこんだり、ワープロ感覚で文章を打ちこんだりすれば、それなりのホームページが出来あがるよ」

「わかりました。これなら私も出来るし、おじさんでも出来そう」

「でも、さっきも言ったけれど、ホームページやブログを公開する時には注意することが幾つかあるんだ」

CMSによるHP作成



仙人はおもむろにメモを取り出した。

「今回の心得もきちんと覚えておくんだよ」

舞は仙人に御礼を言い、メモをバッグに入れ薬局に急いだ。

ホームページ作成の心得五か条

一、顔写真などの公開は慎重にすべし

他人の顔写真はもちろん無断で公開しないこと。インターネットは誰が見てるかわからないもの。自分の写真も公開するときには慎重に

二、著作権のある写真やイラストは使うべからず

著作権法に抵触したら大変なことに

三、プライバシーに関する情報は掲載するべからず

インターネットを悪意を持って使用している者がいることを忘れずに

四、大きすぎる画像は使うべからず

閲覧に支障を与えるような大きな画像は使わない。閲覧するのに時間がかかって迷惑千万!

五、文字化けする文字があることを忘るべからず

特定の機種 (windowsやmacintosh) だけが表示できる文字は、他の機種では表示することができず文字化けする (例えば、 、 、 など)。機種依存文字は使わないこと